

# 平成30年度 公営企業会計決算の概要

## 工業用水道事業会計

- ・地盤沈下の抑制と産業基盤の整備を図るため、昭和39年に給水を開始。
- ・現在、工業用水法による地下水汲み上げ規制区域である県南東部地域6市内（草加市、八潮市、蕨市及び戸田市の全域並びにさいたま市及び川口市の一部）の事業所に工業用水を供給。

### 業務概要

- 給水事業所数 151事業所（前年度と同数）
- 料金単価 22円53銭 /m<sup>3</sup>（税抜、前年度と同額）
- 給水契約水量 183千m<sup>3</sup>/日（前年度 185千m<sup>3</sup>/日 △0.8%）
- 企業債残高 5億2千9百万円（前年度 6億7千5百万円△21.6%）

### 決算概要

単位：百万円

	30年度	29年度	増減額	増減率(%)
事業収益	1,793	1,892	△99	△5.2
（うち給水収益）	(1,583)	(1,579)	(4)	(0.2)
事業費用	1,594	1,558	36	2.3
純利益	199	334	△135	△40.2

- ・施設の更新に伴う減価償却費の増（52百万円）等により、純利益は前年度比40.2%減の199百万円。

### 純利益の推移（単位：億円）



- ・契約水量の減少に伴い、給水収益は減少傾向。
- ・施設の更新等に伴い、減価償却費や除却費は増加傾向。
- ・これらにより純利益は減少傾向。

## 水道用水供給事業会計

- ・水需要増大への対応や地盤沈下防止を目的に、昭和43年に給水を開始。
- ・水源は河川表流水（荒川・利根川水系）で、水道事業者55団体（58市町）へ水道用水を供給。

### 業務概要

- 実績給水量 1,733千m<sup>3</sup>/日（前年度 1,726千m<sup>3</sup>/日 +0.4%）
- 料金単価 61円78銭 /m<sup>3</sup>（税抜、前年度と同額）
- 企業債残高 1,284億6千7百万円（前年度 1,318億3千万円△2.6%）

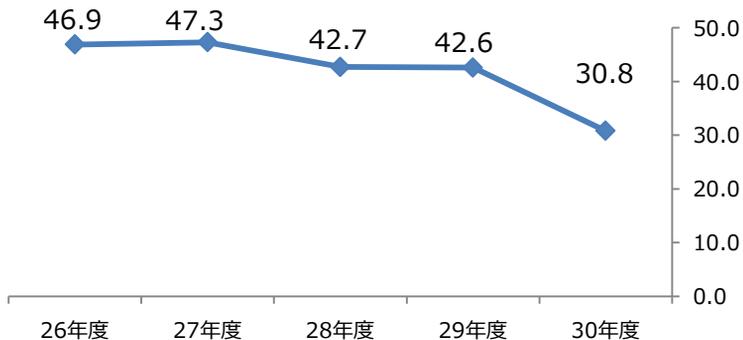
### 決算概要

単位：百万円

	30年度	29年度	増減額	増減率(%)
事業収益 (うち給水収益)	44,357 (39,084)	44,292 (38,912)	65 (172)	0.1 (0.4)
事業費用	41,276	40,033	1,243	3.1
純利益	3,081	4,259	△1,178	△27.7

- ・給水収益の増加により、事業収益は65百万円の増。
- ・修繕費の増（779百万円）、老朽施設の除却費等の増（611百万円）等により、事業費用は1,243百万円の増。
- ・これらにより純利益は前年度比27.7%減の3,081百万円。

### 純利益の推移（単位：億円）



- ・給水量の減少に伴い、給水収益は減少傾向。
- ・施設の老朽化に伴い、修繕費や除却費等は増加傾向。
- ・これらにより純利益は減少傾向。

## 地域整備事業会計

- ・地域経済の活性化及び雇用機会の拡大などを目的に、昭和39年に「宅地造成事業」として工業団地等の造成を開始し、平成12年度からは「地域整備事業」として、産業団地の整備を市町村と共同して実施。
- ・平成14年度からは、産業団地のリースを実施。
- ・吉見、大麻生、妻沼ゴルフ場を株式会社さいたまリバーフロンティアに貸し付け。

### 業務概要

- 事業継続中の地区  
加須 I C 東地区、寄居スマート I C 美里地区、草加柿木地区、松伏・田島地区、川越増形地区、行田富士見地区、嵐山花見台地区
- 団地リース収入  
6団地22社 48.7ha 4億2千9百万円（前年度 6億2千4百万円）
- ゴルフ場施設貸付収入  
吉見、大麻生、妻沼ゴルフ場 2億5千1百万円（前年度 3億1千4百万円）

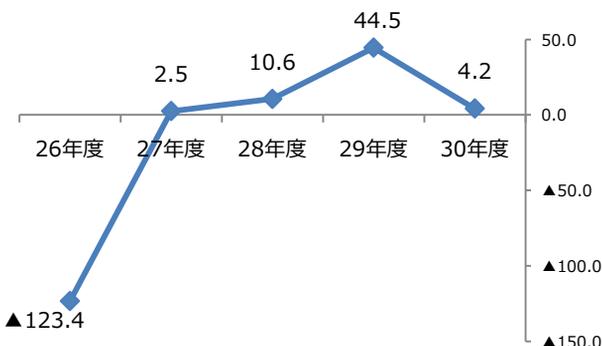
### 決算概要

単位：百万円

	30年度	29年度	増減額	増減率(%)
事業収益	1,048	20,638	△19,590	△94.9
事業費用	625	16,191	△15,566	△96.1
純利益	423	4,447	△4,024	△90.5

- ・産業団地の分譲がなかったため、事業収益（売却収益△19,342百万円）、事業費用（売却原価△15,519百万円）ともに減。

### 純利益の推移（単位：億円）



- ・26年度は、法改正に伴う会計基準の改正により、土地の評価損を計上。